



抜き取って
お読みください

週刊さんいん学聞



2014年11月に創刊した週刊さんいん学聞は、読者のみなさんのおかげで、このたび500号を迎えることができました。創刊500号を記念して、今回は夏のパリオリンピック（五輪）に出場する山陰両県出身の選手を、1面と見開き面で特集します。選手のみなさんを「ゴー（500）ゴー（号）」と一緒に応援しましょう。ぜひ読んでみてね。

五輪へゴー！

山陰勢

いよいよ7月26日開幕のパリ五輪が迫ってきました。山陰両県からは、陸上競技男子3千メートル障害の三浦龍司選手（SUBARU、浜田市出身）、水泳女子板飛び込みの三上紗也可選手（日体大学院、米子南高出身）の活躍が期待されます。2021年の東京大会に続き2度目の五輪出場となる2人を中心に紹介するよ。

陸上男子
3000メートル障害

三浦龍司選手
浜田市出身

みうら・りゅうじ 浜田東中から洛南高校（京都）、順天堂大学へ。2021年の大会で初めて8分17秒46の日本記録をマークし、23年6月の大会では8分9秒91で記録を更新しました。大学卒業後、SUBARUに入社。22歳。

パリ
2024

陸上ダイヤモンドリーグ第3戦の男子3000メートル障害で5位に入った三浦龍司選手（左から4人目）＝5月、ドーハ（A P＝共同）



世界選手権の女子3メートル板飛び込み決勝で演技する三上紗也可選手＝2023年7月、福岡県総合プール

三上紗也可選手
米子市出身

水泳女子
板飛び込み

みかみ・さやか 米子市出身で、米子南高校から日体大、同大学院に進みました。種目は3メートル板飛び込みで、日本学生選手権では4連覇を果たしており、国際大会でも入賞常連の日本のエースです。23歳。

◆ニュースアラカルト、タイナーマスクは休載します。

きょうの紙面

まなぶん 2 面 創刊500号記念
まなぶんクイズ

まなぶん 3 面 新聞づくり見学会
のお知らせ

まなぶん 4 面 投稿ひろば拡大版

まなぶんクイズ

（5月27日付紙面から出題）

26日に千秋楽を終えた大相撲夏場所で新小結として12勝3敗でスピード初優勝を決めた、石川県出身の力士の名前は？千秋楽では関脇の阿炎を押し出しの決まり手で破り、殊勲賞と技能賞を受賞しました。

①大の里

②霧島

③琴桜

（答えは4面）